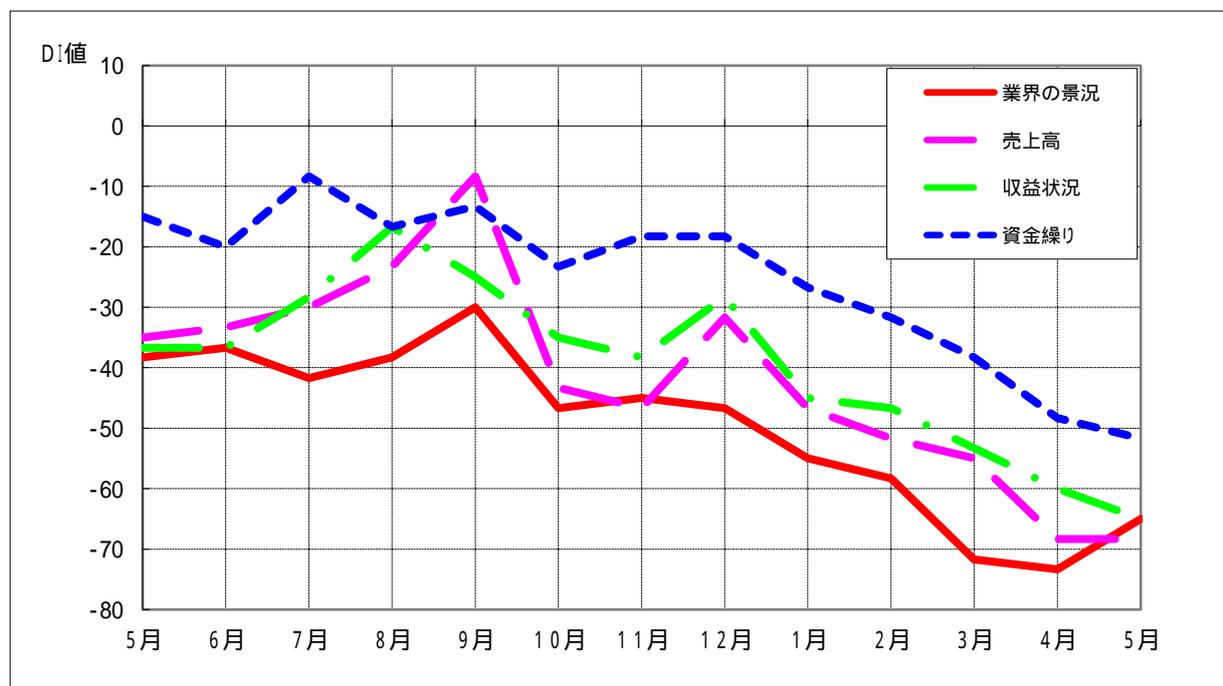


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和元年5月～令和2年5月

単位:ポイント



	R1					R2							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
業界の景況	-38.3	-36.7	-41.7	-38.3	-30.0	-46.7	-45.0	-46.7	-55.0	-58.3	-71.7	-73.3	-65.0
売上高	-35.0	-33.3	-30.0	-23.3	-8.3	-43.3	-46.7	-31.7	-46.7	-51.7	-55.0	-68.3	-68.3
収益状況	-36.7	-36.7	-28.3	-16.7	-25.0	-35.0	-38.3	-28.3	-45.0	-46.7	-53.3	-60.0	-65.0
資金繰り	-15.0	-20.0	-8.3	-16.7	-13.3	-23.3	-18.3	-18.3	-26.7	-31.7	-38.3	-48.3	-51.7

5月のDI値は前月と比べ、1項目改善、1項目不変、2項目悪化となった。「業界の景況」DI値は8.3ポイント改善、「売上高」DI値は不変、「収益状況」DI値は5.0ポイント、「資金繰り」DI値は3.4ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比においては前月同様、全項目で大きく悪化し、「資金繰り」DI値は36.7ポイント、「売上高」DI値は33.3ポイント、「収益状況」DI値は28.3ポイント、「業界の景況」DI値は26.7ポイントそれぞれ悪化となっている。連絡員からは、新型コロナウイルスによる影響が業種を問わず報告されている。製造業では、新型コロナウイルスの影響が少なかった業種でも、今月に入りその影響が顕在化してきたものが多く、先行きの不透明感を危惧する声が多い。一方で、消費者向けの食品などは好調であるが、依然として業務用の比率が高い事業者は厳しい状況といえる。非製造業では、業務需要の低迷も続いており、緊急事態宣言の解除後も停滞が続くとの見通しである。

組合からの特記事項としては、製造業で新型コロナウイルスの影響で営業活動や輸出への制限、自動車関連の生産調整などにより受注減となっており先行きの不透明感を危惧する声が多い。一方で、消費者向けの食品などは好調で、学校の再開により回復した業種もある。非製造業では、業務需要の低迷は続いており、緊急事態宣言の解除後、昼間の人出は多少回復が見られたが、夜間は飲食店等の営業自粛もあり来客数は戻っていない。また、持続化給付金や自治体の協力金等を受給し、事業を維持しているとの報告もあった。
要望事項としては、一層の経済対策や運転資金調達などの条件緩和などが求められている。